

be	be 動詞(am, is, are)は、「です」や「います」という意味です。	① 彼はカナダに <u>います</u> 。	→ ( ) ( ) in Canada.
	be 動詞+一般動詞の ing 形で「～しています」という意味です。	② 彼女は英語を <u>勉強しています</u> 。	→ ( ) ( ) ( ) English.
	be 動詞+going to ~ で「～するつもり」という未来の意味です。	③ 彼女は英語を <u>勉強するつもりです</u> 。	→ ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) English.
	be 動詞+過去分詞形 で「～されます」という意味です。	④ 彼らによって、英語は <u>勉強されます</u> 。	→ ( ) ( ) ( ) by them.
	There is ~ で「～があります」という意味です。	⑤ 机の上に1冊本が <u>あります</u> 。	→ ( ) ( ) ( ) book on the desk.
	複数のものがある場合、There are ~ になります。	⑥ 机の上にいくつか本が <u>あります</u> 。	→ ( ) ( ) ( ) books on the desk.
be 否定	be 動詞の後に not をつけると否定文になります。	① 彼はカナダに <u>いません</u> 。	→ ( ) ( ) in Canada.
	is not は isn't, are not は aren't と短縮できます。	② 彼女は英語を <u>勉強していません</u> 。	→ ( ) ( ) ( ) English.
		③ 彼女は英語を <u>勉強するつもりではありません</u> 。	→ ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) English.
		④ 彼らによって、英語は <u>勉強されません</u> 。	→ ( ) ( ) ( ) by them.
		⑤ 机の上に1冊本が <u>ありません</u> 。	→ ( ) ( ) ( ) book on the desk.
		⑥ 机の上に全然本が <u>ありません</u> 。	→ ( ) ( ) ( ) books on the desk.
be 疑問	be 動詞を文頭に置くと疑問文になります。	① 彼はカナダに <u>いますか</u> ?	→ ( ) ( ) in Canada?
	返事 → Yes, 主語+be 動詞. / No, 主語+be 動詞+not.	② 彼女は英語を <u>勉強していますか</u> ?	→ ( ) ( ) ( ) English?
		③ 彼女は英語を <u>勉強するつもりですか</u> ?	→ ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) English?
		④ 彼らによって、英語は <u>勉強されますか</u> ?	→ ( ) ( ) ( ) by them?
		⑤ 机の上に1冊本が <u>ありますか</u> ?	→ ( ) ( ) ( ) book on the desk?
		⑥ 机の上にいくつか本が <u>ありますか</u> ?	→ ( ) ( ) ( ) books on the desk?
be 疑問詞	疑問詞は疑問文の前につきます。	① どこに、彼は <u>いますか</u> ?	→ ( ) ( ) ( ) ?
	What 「何」、Which 「どちら」、Who 「誰」、Whose 「誰の」、	② 彼女は何才 <u>ですか</u> ?	→ ( ) ( ) ( ) ( ) ?
	Where 「どこ」、When 「いつ」、Why 「なぜ」、How 「どのように」	③ どこで、彼女は英語を <u>勉強していますか</u> ?	→ ( ) ( ) ( ) ( ) English?
	How long は「どの位長く」という意味です。	④ どのように、彼女は英語を <u>勉強していますか</u> ?	→ ( ) ( ) ( ) ( ) English?
	How many ~ は「何個の～」という意味です。	⑤ どこで、彼女は英語を <u>勉強するつもりですか</u> ?	→ ( ) ( ) ( ) ( ) to study English?
	How old は「何才」という意味です。	⑥ どこで、彼らによって、英語は <u>勉強されますか</u> ?	→ ( ) ( ) ( ) ( ) by them?
be 過去	am, is を was に、are を were にすると過去形になります。	① 彼はカナダに <u>いました</u> 。	→ ( ) ( ) in Canada.
		② 彼女は英語を <u>勉強していました</u> 。	→ ( ) ( ) ( ) English.
		③ 彼女は英語を <u>勉強するつもりでした</u> 。	→ ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) English.
		④ 彼らによって、英語は <u>勉強されました</u> 。	→ ( ) ( ) ( ) by them.
		⑤ 机の上に1冊本が <u>ありました</u> 。	→ ( ) ( ) ( ) book on the desk.
		⑥ 机の上にいくつか本が <u>ありました</u> 。	→ ( ) ( ) ( ) books on the desk.
be 過去否定	be 動詞の過去形の後に not をつけると否定文になります。	① 彼はカナダに <u>いませんでした</u> 。	→ ( ) ( ) in Canada.
	was not は wasn't, were not は weren't と短縮できます。	② 彼女は英語を <u>勉強していませんでした</u> 。	→ ( ) ( ) ( ) English.
		③ 彼女は英語を <u>勉強するつもりではありませんでした</u> 。	→ ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) English.
		④ 彼らによって、英語は <u>勉強されませんでした</u> 。	→ ( ) ( ) ( ) by them.
		⑤ 机の上に1冊本が <u>ありませんでした</u> 。	→ ( ) ( ) ( ) book on the desk.
		⑥ 机の上に全然本が <u>ありませんでした</u> 。	→ ( ) ( ) ( ) books on the desk.
be 過去疑問	be 動詞の過去形を文頭に置くと疑問文になります。	① 彼はカナダに <u>いましたか</u> ?	→ ( ) ( ) in Canada?
	返事 → Yes, 主語+be 動詞. / No, 主語+be 動詞+not.	② 彼女は英語を <u>勉強していましたか</u> ?	→ ( ) ( ) ( ) English?
		③ 彼女は英語を <u>勉強するつもりでしたか</u> ?	→ ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) English?
		④ 彼らによって、英語は <u>勉強されましたか</u> ?	→ ( ) ( ) ( ) by them?
		⑤ 机の上に1冊本が <u>ありましたか</u> ?	→ ( ) ( ) ( ) book on the desk?
		⑥ 机の上にいくつか本が <u>ありましたか</u> ?	→ ( ) ( ) ( ) books on the desk?

一般	<p>自分を1人称、相手を2人称、その他を3人称といいます。 主語が3人称で単数の場合、一般動詞にsがつきます。 ※ be動詞でisをつける主語が3人称単数だと覚えてもいいです。 haveはhavesではなくhasになります。 have to+動詞の原形で「～せねばならない」という意味です。 主語が3人称単数の場合、has to+動詞の原形になります。</p>	① 彼らは英語を勉強 <u>します</u> 。 → ( ) ( ) English.
		② 彼女は英語を勉強 <u>します</u> 。 → ( ) ( ) English.
		③ 彼らは1台車を <u>持っています</u> 。 → ( ) ( ) a car.
		④ ケンは1台車を <u>持っています</u> 。 → ( ) ( ) a car.
		⑤ 彼らは英語を勉強 <u>せねばなりません</u> 。 → ( ) ( ) ( ) ( ) English.
		⑥ 彼女は英語を勉強 <u>せねばなりません</u> 。 → ( ) ( ) ( ) ( ) English.
一般否定	<p>一般動詞の原形の前にdon'tをつけると否定文になります。 主語が3人称単数の場合、一般動詞の原形の前にdoesn't。 don't have toやdoesn't have toは「～しなくてもよい」という意味になります。</p>	① 彼らは英語を勉強 <u>しません</u> 。 → ( ) ( ) ( ) English.
		② 彼女は英語を勉強 <u>しません</u> 。 → ( ) ( ) ( ) English.
		③ 彼らは1台車を <u>持っていません</u> 。 → ( ) ( ) ( ) a car.
		④ ケンは1台車を <u>持っていません</u> 。 → ( ) ( ) ( ) a car.
		⑤ 彼らは英語を勉強 <u>しなくてもよいです</u> 。 → ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) English.
		⑥ 彼女は英語を勉強 <u>しなくてもよいです</u> 。 → ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) English.
一般疑問	<p>文頭にDoを置くと疑問文になります。 返事 → Yes, 主語+do. / No, 主語+don't. 主語が3人称単数の場合、文頭にDoes。 返事 → Yes, 主語+does. / No, 主語+doesn't.</p>	① 彼らは英語を勉強 <u>しますか</u> ? → ( ) ( ) ( ) English?
		② 彼女は英語を勉強 <u>しますか</u> ? → ( ) ( ) ( ) English?
		③ 彼らは1台車を <u>持っていますか</u> ? → ( ) ( ) ( ) a car?
		④ ケンは1台車を <u>持っていますか</u> ? → ( ) ( ) ( ) a car?
		⑤ 彼らは英語を勉強 <u>せねばなりませんか</u> ? → ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) English?
		⑥ 彼女は英語を勉強 <u>せねばなりませんか</u> ? → ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) English?
一般疑問詞	<p>疑問詞は疑問文の前につきます。 What「何」、Which「どちら」、Who「誰」、Whose「誰の」、 Where「どこ」、When「いつ」、Why「なぜ」、How「どのように」 How longは「どの位長く」という意味です。 How many～は「何個の～」という意味です。 How oldは「何才」という意味です。</p>	① どこで、彼らは英語を勉強 <u>しますか</u> ? → ( ) ( ) ( ) ( ) English?
		② どこで、彼女は英語を勉強 <u>しますか</u> ? → ( ) ( ) ( ) ( ) English?
		③ なぜ、彼らは1台車を <u>持っていますか</u> ? → ( ) ( ) ( ) ( ) a car?
		④ なぜ、ケンは1台車を <u>持っていますか</u> ? → ( ) ( ) ( ) ( ) a car?
		⑤ いつ、彼らは英語を勉強 <u>せねばなりませんか</u> ? → ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) English?
		⑥ いつ、彼女は英語を勉強 <u>せねばなりませんか</u> ? → ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) English?
一般過去	<p>一般動詞にedをつけると「～しました」という意味です。 eで終わる語は、dだけをつけます。 子音字+yで終わる語は、yをiに変えてedをつけます。 edをつけず、特別な変化をする動詞を不規則動詞といいます。 go→went、come→came、get→got、take→took、 see→saw、do→did、have→had、give→gaveなど。</p>	① 彼らは英語を勉強 <u>しました</u> 。 → ( ) ( ) English.
		② 彼女は英語を勉強 <u>しました</u> 。 → ( ) ( ) English.
		③ 彼らは1台車を <u>持っていました</u> 。 → ( ) ( ) a car.
		④ ケンは1台車を <u>持っていました</u> 。 → ( ) ( ) a car.
		⑤ 彼らは英語を勉強 <u>せねばなりませんでした</u> 。 → ( ) ( ) ( ) ( ) English.
		⑥ 彼女は英語を勉強 <u>せねばなりませんでした</u> 。 → ( ) ( ) ( ) ( ) English.
一般過去否定	<p>didn'tを一般動詞の原形の前につけると否定文になります。 過去形になると、3人称単数は関係なくなります。</p>	① 彼らは英語を勉強 <u>しませんでした</u> 。 → ( ) ( ) ( ) English.
		② 彼女は英語を勉強 <u>しませんでした</u> 。 → ( ) ( ) ( ) English.
		③ 彼らは1台車を <u>持っていませんでした</u> 。 → ( ) ( ) ( ) a car.
		④ ケンは1台車を <u>持っていませんでした</u> 。 → ( ) ( ) ( ) a car.
		⑤ 彼らは英語を勉強 <u>しなくてもよかったです</u> 。 → ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) English.
		⑥ 彼女は英語を勉強 <u>しなくてもよかったです</u> 。 → ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) English.
一般過去疑問	<p>Didを文頭に置くと過去の疑問文になります。 返事 → Yes, 主語+did. / No, 主語+didn't.</p>	① 彼らは英語を勉強 <u>しましたか</u> ? → ( ) ( ) ( ) English?
		② 彼女は英語を勉強 <u>しましたか</u> ? → ( ) ( ) ( ) English?
		③ 彼らは1台車を <u>持っていましたか</u> ? → ( ) ( ) ( ) a car?
		④ ケンは1台車を <u>持っていましたか</u> ? → ( ) ( ) ( ) a car?
		⑤ 彼らは英語を勉強 <u>せねばなりませんでしたか</u> ? → ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) English?
		⑥ 彼女は英語を勉強 <u>せねばなりませんでしたか</u> ? → ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) English?

助動詞	can は、「～することが出来る」という意味です。	① 彼女は英語を勉強することが出来ます。 → ( ) ( ) ( ) English.
	could は、「～することが出来た」という意味です。	② 彼女は英語を勉強することが出来ました。 → ( ) ( ) ( ) English.
	will は、「～するでしょう」という未来の意味です。	③ 彼女は英語を勉強するでしょう。 → ( ) ( ) ( ) English.
	must は、「～せねばならない」という意味です。	④ 彼女は英語を勉強せねばなりません。 → ( ) ( ) ( ) English.
	should は、「～すべき」という意味です。	⑤ 彼女は英語を勉強すべきです。 → ( ) ( ) ( ) English.
	may は、「～かもしれない」という意味です。	⑥ 彼女は英語を勉強するかもしれません。 → ( ) ( ) ( ) English.
助動詞否定	助動詞の後に not をつけると否定文になります。	① 彼女は英語を勉強することが出来ません。 → ( ) ( ) ( ) English.
	can not は can't, could not は couldn't, will not は won't,	② 彼女は英語を勉強することが出来ませんでした。 → ( ) ( ) ( ) English.
	must not は mustn't, should not は shouldn't と短縮できます。	③ 彼女は英語を勉強しないでしょ。 → ( ) ( ) ( ) English.
	may not は短縮できません。	④ 彼女は英語を勉強してはいけません。 → ( ) ( ) ( ) English.
		⑤ 彼女は英語を勉強すべきではありません。 → ( ) ( ) ( ) English.
		⑥ 彼女は英語を勉強しないかもしれません。 → ( ) ( ) ( ) ( ) English.
助動詞疑問	助動詞を文頭に置くと疑問文になります。	① 彼女は英語を勉強することが出来ますか? → ( ) ( ) ( ) English?
	返事 → Yes, 主語+助動詞. / No, 主語+助動詞+not.	② 彼女は英語を勉強することが出来ましたか? → ( ) ( ) ( ) English?
		③ 彼女は英語を勉強するでしょうか? → ( ) ( ) ( ) English?
		④ 彼女は英語を勉強せねばなりませんか? → ( ) ( ) ( ) English?
		⑤ 彼女は英語を勉強すべきですか? → ( ) ( ) ( ) English?
		⑥ 彼女は英語を勉強するかもしれませんか? → ( ) ( ) ( ) English?
助動詞疑問詞	疑問詞は疑問文の前につきます。	① いつ、彼女は英語を勉強することが出来ますか? → ( ) ( ) ( ) ( ) English?
	What 「何」、Which 「どちら」、Who 「誰」、Whose 「誰の」、	② どこで、彼女は英語を勉強することが出来ましたか? → ( ) ( ) ( ) ( ) English?
	Where 「どこ」、When 「いつ」、Why 「なぜ」、How 「どのように」	③ なぜ、彼女は英語を勉強するでしょうか? → ( ) ( ) ( ) ( ) English?
	How long は「どの位長く」という意味です。	④ どのように、彼女は英語を勉強せねばなりませんか? → ( ) ( ) ( ) ( ) English?
	How many ～ は「何個の～」という意味です。	⑤ いつ、彼女は英語を勉強すべきですか? → ( ) ( ) ( ) ( ) English?
	How old は「何才」という意味です。	⑥ どこで、彼女は英語を勉強するかもしれませんか? → ( ) ( ) ( ) ( ) English?
現在完了	have+動詞の過去分詞形 は、「ずっと～している」、「～したことがある」、「～してしまった」、「～したところだ」という意味です。	① 彼らは英語をずっと勉強しています。 → ( ) ( ) ( ) English.
	主語が3人称単数の場合、have は has になります。	② 彼女は英語をずっと勉強しています。 → ( ) ( ) ( ) English.
	have been to ～ で「～に行ったことがある」という意味です。	③ 彼女は富士山を見たことがあります。 → ( ) ( ) ( ) Mt.Fuji.
	go 「行く」を使わないので注意しましょう。	④ 彼女はカナダに行ったことがあります。 → ( ) ( ) ( ) ( ) Canada.
		⑤ 彼女はカナダに行っていました。 → ( ) ( ) ( ) ( ) Canada.
		⑥ 彼女は宿題を終えたところです。 → ( ) ( ) ( ) her homework.
現在完了否定	have や has の後に not をつけると否定文になります。	① 彼らは英語をずっと勉強していません。 → ( ) ( ) ( ) English.
	have not は haven't, has not は hasn't と短縮できます。	② 彼女は英語をずっと勉強していません。 → ( ) ( ) ( ) English.
	「今までに～したことがない」という場合、not の代わりに never を使います。	③ 彼女は富士山を見たことがありません。 → ( ) ( ) ( ) ( ) Mt.Fuji.
		④ 彼女はカナダに行ったことがありません。 → ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) Canada.
		⑤ 彼女はカナダに行っていないです。 → ( ) ( ) ( ) ( ) Canada.
		⑥ 彼女は宿題を終えていません。 → ( ) ( ) ( ) her homework.
現在完了疑問	Have を文頭に置くと疑問文になります。	① 彼らは英語をずっと勉強していますか? → ( ) ( ) ( ) English?
	返事 → Yes, 主語+have. / No, 主語+haven't.	② 彼女は英語をずっと勉強していますか? → ( ) ( ) ( ) English?
	主語が3人称単数の場合、Has を文頭に置くと疑問文になります。	③ 彼女は富士山を見たことがありますか? → ( ) ( ) ( ) Mt.Fuji?
	返事 → Yes, 主語+has. / No, 主語+hasn't.	④ 彼女はカナダに行ったことがありますか? → ( ) ( ) ( ) ( ) Canada?
		⑤ 彼女はカナダに行っていましたか? → ( ) ( ) ( ) ( ) Canada?
		⑥ 彼女は宿題を終えたところですか? → ( ) ( ) ( ) her homework?